

境町地域おこし協力隊のアート活動

藤原敏雄（境町地域おこし協力隊
アートディレクター）

地域おこし協力隊として、2022年5月1日に境町に赴任し、この3月31日までの任務を終えました。
境町に呼ばれた主な任務は、国際児童画展の立ち上げでした。境町は、姉妹都市のマリキナ市とホノルル市、友好国のアルゼンチンと交流を行っています。また、境町には人口の約5%（2022年当時）の外国籍の人々が住んでいます。境町のことも、海外の交流地域のことも、海外にルーツを持つ境町のこともまたちが絵を通じて、互いの生活や文化を学べる場として、さかいまち国際児童画展になればよいと願います。

そして、児童画展は子どもだけの世界で終わるのではなく、おとなも子どもの

絵を観て、子どもの時にしかない感性に改めて触れ、ご自分の子ども時代を思い出してください。パブロ・ピカソの名言を紹介します。「子どもは誰でも芸術家だ。問題は、大人になっても芸術家でいられるかどうかだ。」「芸術家」はプロの職業を意味しているのではなく、心の在り方（感性）を、ピカソは投げかけていると考えます。

さかいまち国際児童画展の第一回展（2024年）と第二回展（2024・25年）を開催する他に、三つの展覧会を企画、開催しました。その一つは「世界の子どもたちの絵画展＋遠藤彰子展」（2023年）は、さかいまち国際児童画展の最初の開催の前に、国際児童画展を知ってもらう為に開きました。「遠藤彰子展」の画家の遠藤彰子先生は、自分が運営に関わった「カナガワビエンナーレ国際児童画展」で審査委員を務めています。

「シエの歌 未来の地球像に向けて」展（2023・24年）は、四人のコロナピアン（米国在住）を招いて、エコロジー（環境保全）をテーマにして、各アーティ

ストがその専門領域（写真、版画、パフォーマンス、映像）での作品を発表しました。緊急課題である環境破壊の現状を知るために、また環境をどのように守っていくかを考える展覧会でした。展覧会名にある「シエ」は、コロナピアン高地に住む先住民の言葉で、水に関わる宇宙観や自然観を表現する音楽を意味しています。ワークショップでは、環境になるべく負荷をかけるないゴム板版画と日光写真でアーティ

ストがその専門領域（写真、版画、パフォーマンス、映像）での作品を発表しました。緊急課題である環境破壊の現状を知るために、また環境をどのように守っていくかを考える展覧会でした。展覧会名にある「シエ」は、コロナピアン高地に住む先住民の言葉で、水に関わる宇宙観や自然観を表現する音楽を意味しています。ワークショップでは、環境になるべく負荷をかけるないゴム板版画と日光写真でアーティ

「鼓動」「リズム」「振動」の言葉からイメージしたダンスパフォーマンスを、それぞれのアーティストたちが行いました。

境町には、限研吾設計の建築が七棟（2024年当時）あることから、企画展を「くまさんば 限研吾建築と境町」展（2024年）にしました。限研吾設計の境町の建築七棟をパネル紹介するとともに、全国にある限研吾建築のなかから八棟の建築の模型の展示を行いました。限研吾の建築思想と造形原理（「孔」「粒子」「斜め」「やわらかい」「時間」）を境町の人たちに知ってもらう小さな礎となること本展の企画趣旨でした。限研吾氏によるギャラリートーク企画は叶えられません



▲児童画展に会場した愛児園の園児たちに解説を行いました



俳句

令和七年一月 境町文化協会俳句部

兼題 「去年今年・初富士」他当季雑詠

また伸びし孫の背丈や 去年今年

※去年今年とは、旧年を送り、新年を迎えた意味を指す「初春」の季語のこと。普段は気にも留めなかった孫の背丈だが、初春、遅く成長した姿に感激更に期待を寄せる作者なのである。

初富士や 影絵のごとき夕景色

※道の駅周辺から、特に、川の一里塚・茨城百景記念公園までの利根の堤防は、霊峰富士と名城関宿城の景観が絶妙。数々の観光スポットと相俟って、毎年多くの人々で賑う。この作品からも、その素晴らしさを伺い知る事が出来る。

家族ふえ集う日多し 去年今年

老いて今孫に頼られ 去年今年

初富士や 峰にも勝る父母の愛

初富士に 健康願い 手をあわす

去年今年 変はりなき身に 感謝せむ

初富士に 安泰祈る 利根の橋

初富士や 凜々しき山容襟正す

農機具を 納屋に仕舞いて 去年今年

澄み渡る 空の碧さよ 去年今年

年の計秘めて 初富士 仰ぎけり

初富士や 心静かに 幸祈る

初富士や 雲寄せつけず 凜と在り

初富士や 雄姿を 拝す 利根堤

- 正子 ひろこ
- 喜一 きよ乃
- 晴美 光夫
- すみ子 久子
- むりき 雄節
- さかき 香子
- 慶子 芙蓉
- 信子 幸子
- 仁子 春年

短歌

令和七年初句会成績（一月十八日・席題 七草粥）

- 一席 九点 七草粥炊きて身重の娘を想ふ 雄節
- 二席 八点 老いてなほ生きるつもり七草粥 信子
- 三席 八点 庭畑の青菜も加え七草粥 久子



境短歌会 山鳩

- 日が落ちて 群青空に美しく金色に輝く女神の姿 川上京子
- ピクリとも 動かぬ浮きを釣る人はまんじりともせずあかず眺むる 川村米子
- 新聞の歌壇俳壇読みしあと 卒寿の我に肥料の如し 古谷野信子
- 栗の木の白く咲きたる長き花風にゆらゆら花の見事さ 桜井レイ
- 髪切りて 男前挙げしわが息子 優しさ増して頼もしきかな 五月女三枝子
- 電車内暗さに慣れて本を読む人は明るき窓辺に寄りぬ 鈴木喜與子
- 他国語を聞きつつ並ぶレジの前小さな町に小さな笑顔 松岡美智子
- 朝霞樹々の青菜と若葉かげ織りなす様は 精気に満つる 本島イト子

フロー 定年70歳 60歳時の給与が70歳まで続きます！

グループホーム フローラ久喜 / フローラ幸手

介護職 未経験者、プランクある方 歓迎

正 月給 228,000円～ 時給 1,180円～

夜勤専従介護職 正 月給 236,000円～ 1夜勤 22,400円～

採用係 9:00～18:00 (月～金・祝) 0120-26-8117